

公開シンポジウム
「初等・中等教育における「いのちの教育」に関わる看護からの提言」

1. 主催・共催：日本看護学教育学会、日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分会
2. 後 援：文部科学省初等中等教育局（予定）
3. 日 時：平成22年8月1日（日）、9：00～11：30
4. 場 所：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）会議室 1008
〒530-0005 大阪市北区中の島5-3-51

5. 開催趣旨：

文部科学省では、「生きる力」をキーワードとした学習指導要領の改訂が行われ、将来の超高齢社会を見据えた「いのちの教育」を大事にする指導指針が示された。この変化は看護学にとっても、次代を担う人材育成の観点から重要な課題である。

日本学術会議の最重要機能は、政府・行政への政策提言である。このことから、今回の企画では、「いのちの教育」に関連の深い看護系学会である「日本看護学教育学会」が主催する学術集会において、将来を見据えた初等・中等教育への関わりを議論し、日本学術会議の掲げる「意欲ある人材の養成と能力開発、人類の知的基盤形成・・・」あるいは「豊かな社会形成のために必要なイノベーション」を実現していくための看護の新たな役割について、次世代の社会を見据えた具体案の作成を目指して検討したい。

そこで今回、第20回日本看護学教育学会学術集会（大阪）において、標記の公開シンポジウムを企画した。このシンポジウムでは、日本学術会議の看護学分会で討議してきた経緯や趣旨・内容などについて紹介し、初等・中等教育に直接関わっておられる行政官や、教育現場の教師、さらにそれらを支える地域住民が、「いのちの教育」をどのように捉え・実践で応用しているのか、その中で将来的展望に立って看護がどのように関わることが可能なのか、どのような社会的な役割を果たせるのか、などについて、政策提案なども含めた方略について模索したい。

6. 次 第：

○挨拶

座長 南 裕子（日本学術会議会員、近大姫路大学長）

○シンポジストによる講演

- （1）川口孝泰（日本学術会議連携会員、筑波大学大学院人間総合科学研究科教授）
- （2）和住淑子（日本看護学教育学会理事、千葉大学大学院看護学研究科准教授）
- （3）古在豊樹（日本学術会議連携会員、千葉大学客員教授・前千葉大学長）
- （4）井部俊子（日本学術会議連携会員、聖路加看護大学長）
- （5）大橋泰久（文部科学省初等中等教育局 教科調査官）

○総合討議

○閉会の挨拶

★参加費無料、事前申し込み不要です。

★本件に関するお問い合わせは、以下までお願いします。

日本看護学教育学会事務局

〒105-0012 東京都港区芝大門 2-1 2-6 芝ハタビル402号室

<http://www.jane-ns.org/>

E-mail: jimukyoku@jane-ns.org

TEL: 03-5472-7455

FAX: 03-5472-7465